



■村竹 昇G12アシスタント
ガバナー

貴重な時間をとっていただき
感謝申し上げます。
今日は、会員増強の必要性と
いう話をしに来いという丸田委
員長の要請を受けて参りまし
た。

前年度6月末のG12の会員増強の状況ですが、退
会者が18名・新入会員14名で、純増マイナス4名
です。ちなみに2710地区では、マイナス38名とい
う結果でした。

会員数の減少は、当グループだけの問題ではな
く、非常に厳しい状況があるようです。春頃からい
ろ調べておりますとどうにもならないという危機
感を感じざるを得ず、それに対応するためには任期
開始の7月を待ってからではとても遅く感じました
ので、既に2回会員増強委員長さんにお集まりいた
だき対策を検討してきました。

もう、私どもの中央だとか、吉舎とか東城とか個別
のクラブがどうこうといっている時代ではないと感じ
ています。2710地区でも特にこの12グループは過
疎化が進んできていて、会員増強を図るためにはグ
ループで結束して対応していかなければいけない
と考えています。

その中で会員増強委員長さんをお願いしたのは、
例えば同級生があるいは同業仲間が庄原に東城に
いるということもあると思いますが、今までだったら、
そのクラブのテリトリーの中だけで勧誘していたもの
を、テリトリーをグループ12全体に拡げて情報を集
め、増強委員長同士でいろいろ話し合っ勧誘して
いこうということです。その中には当然女性会員
もあると思うんです。

また、三良坂はライオンズが強いから、はなから勧
誘をしないというのも改めないといけないし、か
といって今観光協会で合併した甲奴の経験深い方々
との人間関係がありますが、そうした人を引き抜く
という問題があります。

それよりも、その地域で元気のいい若い人を2、3人
会員になってもらうほうが元気が出るなと思います。
そうなれば、たとえば吉舎だから吉舎へ来てもらう
というのではなく、甲奴へも行って例会を交互にする
ということも考えたり、テリトリーを拡げていろんな可

能性が出てくるのではないかと考えているところ
です。

ということで、この5クラブで最低10人の増強をして
いこうというお願いをしております。12月頃までには
ほぼ達成したいなと思っています。

そうはいいながら増強もですが、まず大切なのはそ
のクラブが楽しい、行ってみたいと思うようなクラブ
にしないと増強もあつたものではないと思います。

人間関係が素晴らしいとか、みんなで頑張ろうとい
うような一致団結した元気のあるクラブでないとな
り増強してもすぐ退会に繋がってしまえば意味がない。

また、どのクラブでもともすればそうなんですが、増
強委員長と会長に任せておけばなんとかなるという
ような安易な考えがあるから、なかなか増強ができ
ないんじゃないかと思ひます。やはり、一人一人が
熱く行動してもらって、1、2年のうちにはなんとか1
人を入会してもらおうような状況になることが望ましい
のではないのでしょうか。

9月には、クラブの活性化について各クラブを廻ら
せてもらうこととなりますが、その時またその件につ
いて僭越ながらお話できればと思っております。

最後に、21年前に三次中央ロータリーが誕生しま
した。その時の会長が今澤先輩、特別代表が下山
庄兵衛さん、拡大委員長が谷岡先生だったかと思
ひます。25人必要だったのですが、2人どうしても

足りない。時間がないので、もう見切り発車でその
当時の広田ガバナーは新幹線で先に東京へ向か
われ、何とか残りの2人を集めて後からファクスでメ
ンバーをお伝えした経緯がありました。そうした難産
だったことを思い出したわけですが、最近三次中
央もまあなんとかやりようじゃないかと多少お褒め
を頂き嬉しくまた当時が懐かしく思い出されます。

各クラブを廻らせていただいて、お話しているの
は、そうした苦しい思いをして生み出していただ
いた親クラブがこうした大変なときに、子クラブにでき
ることは何かを考えたとき、一致協力して助けてい
かないと後で悔いが残りますよということです。

アシスタントガバナーとしてグループ12をもち立て
ていけるよう頑張っ参りますので、よろしく願ひし
ます。

今日は貴重な時間を頂きありがとうございました。

今日は貴重な時間を頂きありがとうございました。

今日は貴重な時間を頂きありがとうございました。

2010年 8月19日(木)

第 7号

本日のプログラム	地区大会の状況報告（みずま工房 北村敏弘様・小池隆二様）
次回例会	8月26日（木） 18：30～ 三次商工会議所
次回プログラム予告	夜間例会

例会記録・・・8月5日

- 点 鐘・・・中川筆之 会長
- ソング・・・「君が代」「それでこそロータリー」
- ゲスト・・・村竹 昇 様 (G 1 2 アシスタントガバナー)
- 4つのテスト・・・佐々木 智 会員



会 長 挨拶 ■中川 筆之 会長



失礼します。一週間のご無沙汰でした。
さて、テレビ、新聞で 高齢者の行方不明もしくは所在不明者が続出している
と報道されてますが、韓国のマスコミは、世界一の長寿大国日本の正体はこれ
か？ と皮肉気味に伝えています。あるマスコミの論説は、このような世情は突然
になったわけではなく、古き良き日本が、日本人が、持っていた社会の価値観
が崩れ経済だけが重要視されるようになった結果として今のような社会になっ
てしまったと述べています。
例えば育児放棄とかモンスターペアレンツと言う様な一昔前でしたら考えられな
かったことが頻繁に起こっています。これらのことは日本だけではなくアメリカや
イギリスでも報告されてます。彼ら自身も古き良きわれらのアメリカはどこに行っ
た？と悩んでいるようです。
徳川家18代当主の恒孝氏は、それらの解決の一つの糸口が江戸時代の日本
に有ると日本人以外の人から言われている、と言われてます。何の資源も使わ
ないであれだけの社会を維持したことが一つのモデルだそうです。
本日は以上です。

幹事報告 ■菅原 暢之 幹事

■(社)三次市観光協会より第21回みよし市民納涼花火まつり開催のお礼・翌日清掃作業のお礼。

出席報告 ■明山 晃映 委員長

7月22日の出席報告					本日(8月5日)の出席状況			
会員数	出席者	Make-up	出席免除者	出席率	会員数	出席者	出席免除者	欠席
42	29	2	7	83.33%	42	25	6	11

Make-up 伊藤会員(ローターアクト)・新家会員(庄原)

SAA報告 ■属 吉行 SAA

スマイル17,000円

村竹昇	本日、お世話になります。
丸田洋司	本日の例会、村竹ガバナー補佐においで頂きました。お世話になります。
野村博之	長い間休会しました。
入会月	属 吉行
夫人誕生月	佐藤匡司・新家良和
創業月	荒瀬秀賢

プログラム

会員組織委員会



丸田会員増強委員長

8月は会員増強月間となり、例会後半は、本日お越し頂いております村竹G12アシスタントガバナーから会員増強の必要性についてお話頂きます。

お手元に配っておりますが会員増強情報をぜひお知らせ下さい。今年度版“入会のご案内”も作成して事務局に用意していますのでぜひ活用頂き、会員増強に役立てていただきたいと思います。

また、来週の月曜日三次中央ロータリーで西村パストガバナーによりロータリーにルネッサンス〜真の会員増強を目指してというタイトルでお話されます。ぜひこの機会に聞いて頂ければと思います。

会員増強月間としてロータリーの友にもしっかり紙面を割いて掲載されてますし、ガバナー月信8月号にも前田ガバナーが“会員増強・退会防止に向けて”という記事をいつも以上に思いを込めて書いておられますので、よく読んで頂きたいと思います。三次ロータリークラブの中川会長テーマであります“目指そうクラブの発展、動こう会員増強”にも示されているように会員増強の位置づけは非常に重いものであることをあわせて認識いただければと思います。

会員組織委員会は、私会員増強委員長、天野ロータリー情報委員長、常光研修委員長で純増3名の増強を計画書ではあげていますが、目標としては5名をなんとかしてでも増強したいと考えています。決して会員増強委員会だけでできるのではなく、当然皆様の協力あってこそ達成できるも

のです。特に女性会員を入れてみたいと思います。

ロータリーの入門書に会員増強委員会の活動を次のように解釈すると書いてあります。新会員の推薦は会員個人がするものであるが、それまでの根回し下ごしらえを委員会がするものである。

従って、あらかじめ未充填の職業分類を注視し、常にそれを充填すべく候補者を考慮しておく。理事会が会員増強を発表したら直ちに当該候補者を候補者の関連業あるいは知己の会員に、その推薦方を依頼するようにする。

また、絶えず理事会と連絡をとり会員増強に関して意見を具申し、国際ロータリーが進める会員5名でグループを作り、各グループ1名の新会員獲得に努力するFive for One Plan.を組織し指導運営する。(中略)

こうした手順をふまえて既に三次中央ロータリークラブでは、成果を上げてきておられます。グループ別のことですが、会員の皆さんをかいつままで1から6までにグループ分けさせてもらって会員増強にあたっていただくことを提案しております。

お手元にグループ分けした資料<新風・古風・三次風作戦>を配付いたしておりますが、しばらくはそのグループ分けで例会のテーブル配置を作らせていただき、初期の目標を達成していきたいと思っております。

新風・古風・三次風作戦には、会員増強を達成して前田ガバナーの期待に応えようという村竹アシスタントガバナーの強い思いと、中川会長のクラブ方針に鋭意努力して目標を達成しようと書いております。